

## 案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	サモア
2. 案件名	サモアにおけるラン科植物の栽培技術普及と新産業開発提案
3. 事業の背景と必要性	<p>サモアの主要産業は農業であるが耕作面積が小さく作物の生産量が限られているため、自給農業が大半を占めている。また気候変動等への対応が未熟なことから国民の生活水準は低いままである。</p> <p>そこで本プロジェクトでは、農家の所得向上のため、組織培養技術を用いた洋ラン科植物の洋ランとバニラの栽培・加工を新しい産業として提案する。サモアでは近年、サービス業の成長に伴い観賞用作物として洋ランの需要が伸びてきているが、その多くを輸入に依存している。また、バニラは世界的に価格が高騰し高付加価値作物として期待されている。サモア周辺の気候は洋ラン科植物に適しており、未知の遺伝資源も多く賦存していると考えられることから、新産業としての高い可能性を有している。</p> <p>洋ラン・バニラ栽培は専門家が指導することで比較的短期間に技術移転できる作物であり、サモアの特産品としてブランディングすることで高付加価値作物を国内外に売り出すことが可能となり、持続的な経済成長を見込める新たな産業となる。</p>
4. プロジェクト目標	STEC と STEC に雇用される農民、及び SROS に対して、ラン科植物であるコショウラン（花卉）とバニラ（香料）の生産技術が普及され、サモア独自の特産品（サモアブランド）を構築することによって新産業の基盤が整備される。
5. 対象地域	アピア周辺の農村地域
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	サモア国営信託農業法人 (STEC) 及び STEC の生産者、サモア国立科学研究機構 (SROS) /アピア地域周辺の農村地域に住む生産者
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p>&lt;成果&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>洋ラン・バニラに共通する組織培養技術と種苗化技術を習得する。</li> <li>洋ラン・バニラに共通する鉢上げ作業の技術を習得し、出荷規格とマニュアルが作成される。</li> <li>サモア独自の特産品として、洋ラン・バニラのマーケティング調査を実施し、ブランド戦略の基盤を構築する。</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>組織培養技術と種苗化技術の指導、技術マニュアルの作成。</li> <li>鉢上げ技術の指導、出荷規格の策定、生産マニュアルの作成。</li> <li>国内外におけるマーケティング調査、ブランドモデルの要素分析、サモア独自の特産品としてのブランド戦略の基盤を構築。</li> </ol>
8. 実施期間	2021年1月～2024年1月
9. 事業費概算額	13,659千円
10. 現地カウンターパート	STEC(Samoa Trust Estates Corporation)
II. 実施団体の概要	
1. 提案団体名	一般社団法人 The Earth Cafe
2. 活動内容	食や農に関わる人たちを集めてイベントや勉強会を開催し、人と人をつなげる場「プラットフォーム」を提供する活動を行っている。